

宮城県議会地方創成調査特別委員会とCOCワークショップを開催しました

5月27日（水）に、地（知）の拠点整備事業（COC）中山間地域・島しょ部領域（生物生産学部）では、宮城県議会地方創成調査特別委員会（議員8名，職員3名）の視察を受け入れました。

植松研究科長から歓迎のあいさつを行った後、担当教員らがCOC事業の概要説明などを行いました。質疑の後、COC事業でお世話になっている中山間地域・島しょ部から安芸太田町，世羅町，大崎上島町に加え，協力企業のサタケ，中国新聞社を交えたワークショップ「地方創成において，大学に何を期待するか ー農水産業と農山漁村の場合ー」をテーマに開催しました。

院生がファシリテーターを務め，県議会議員，学生，地域の積極的な意見交換と交流が行われました。議員からは、「地域志向型教育の進展がよくわかった」、「地域と大学との連携の可能性を考えるきっかけになった」、「大学の本来の姿である長期的視点で地域と連携した人材育成を行って欲しい」という発言などが出されました。

